

■ 「2コア1パーク&モール」の都市構造を活かしたまちづくり

地理的条件を活かす

交通結節点である鉄道駅間が約1.2kmと徒歩圏であり、その中心におにクル・中央公園・元茨木川緑地といった人が滞在・活動できる都市空間がある



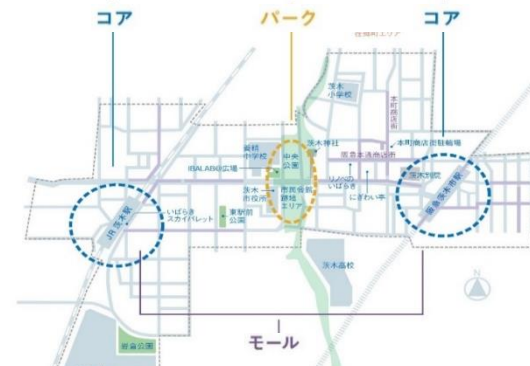
まちを使い 楽しむための仕掛けや「場」づくり

暮らしやまちの質を向上させ、住み続けたい、住んでみたいと思える「居心地のいい」空間を創出する施策を展開



大小さまざまな「場」で思い思いの「活動」が日常的に繰り広げられる、活動が景色となる“ひと”が中心の居心地のいいまちなかを目指す

「2コア1パーク&モール」の都市構造



| 2 コア | 1 パーク | モール |
|-----------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 阪急茨木市駅とJR茨木駅の両駅周辺のエリア | 文化・子育て複合施設「おにクル」や中央公園、元茨木川緑地周辺のエリア | 2つのコアを東西に結ぶ、商店が集積するストリート |

■ 主な中心市街地での出来事

- 平成27年(2015年) 立命館大学大阪いばらきキャンパス開学・岩倉公園開設
JR茨木駅東口(いばらきスカイパレット)竣工
- 平成30年(2018年) I B A L A B @広場を設置
- 令和元年(2019年) まちづくり会社〈FICベース株式会社〉設立
- 令和5年(2023年) おにクル(文化・子育て複合施設)開館
元茨木川緑地リ・デザイン計画の高橋交差点南北エリア完成

■ 元茨木川緑地リ・デザイン

元茨木川緑地は、開設から40年以上が経過し、老木の増加、施設の老朽化が進み、更新が必要となっている。古くなった部分の改修や更新を行う単なるリニューアルではなく、今までの良さも残しつつ、市民の多様で魅力ある活動が生まれ、市民の関わりと活動が広がる場を目指す。



■ おにクル

おにクルは、ホールや図書館、子育て支援センター、プラネタリウム、市民活動センターなどさまざまな機能から構成される複合施設。7層のフロアを貫く吹き抜け空間と、それを登る「縦の道」を通じて、色々な目的で訪れた人たちが、館内を回遊し、さまざまなモノやコトに触れ、人と人とのつながりが生まれる。



各所で行われる社会実験・イベント

多様な主体の活動やネットワークを推進力とし、中心市街地全体の活性化につなげていく

